

アカルボース OD錠 50mg 「NIG」 アカルボース OD錠 100mg 「NIG」

【この薬は？】

販売名	アカルボース OD錠 50mg 「NIG」 Acarbose OD Tab. 50mg	アカルボース OD錠 100mg 「NIG」 Acarbose OD Tab. 100mg
一般名	アカルボース Acarbose	
含有量 (1錠中)	50mg	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、食後過血糖改善剤で、 α -グルコシダーゼ阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、腸管でのブドウ糖の吸収を遅らせ、食後の血糖値が急激に上昇するのを抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

糖尿病の食後過血糖の改善（ただし、食事療法・運動療法によっても十分な血糖コントロールが得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えて経口血糖降下薬若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な血糖コントロールが得られない場合に限る）。

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重いケトーシス状態（吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人
- ・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
- ・過去にアカルボース OD錠「NIG」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人
- ・胃腸障害のある人
- ・ロエムヘルド症候群の人、重いヘルニア、大腸の狭窄（きょうさく）・潰瘍（かいよう）などがある人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	アカルボース OD錠 50mg 「NIG」	アカルボース OD錠 100mg 「NIG」
一回量	1回 2錠	1回 1錠
飲む回数	1日 3回毎食直前	

- ・1回50mgから使用を開始し、忍容性（アカルボースOD錠「NIG」による副作用があらわれていても、十分耐えられ治療の継続が可能か否か）を確認しながら、1回100mgまで増量されることがあります。
- ・高齢の人は、1回50mgから開始されます。

●どのように飲むか？

この薬は、口の中で溶かして飲む薬です。舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液で飲み込みます。唾液だけでは飲み込めない場合はコップ1杯の水またはぬるま湯で飲み込んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。食事の直前に飲み忘れたときは、食事中に1回分を飲んでください。食後かなりの時間がたっている場合は、1回とばして次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・副作用として低血糖症状（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下など）があります。このような症状があらわれたら、ブドウ糖を飲んでください。この薬を使用するにあたっては、患者およびご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・劇症肝炎などの重篤な肝機能障害があらわれることがあります。このような副作用はほとんどの場合、飲み始めてから6ヵ月以内にあらわれます。飲み始めの6ヵ月間は月1回、その後も定期的に肝機能検査が行われます。
- ・この薬の使用中に腹部膨満・鼓腸（腹がはる・ガスがたまっておならがでる）、放屁（ほうひ）増加などの消化器系副作用がおこることがあります。これらは時間が経つと消失することが多いのですが、ひどくなって耐えられない場合は医師に相談してください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2～3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・自動車の運転中や高所作業中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。




このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
高アンモニア血症 こうアンモニアけっしょう	吐き気、嘔吐、けいれん、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	意識の低下
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐
腹部	お腹がすく、お腹が張る、腹痛、食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	便やおならが出にくい
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	アカルボース OD錠 50mg 「NIG」	アカルボース OD錠 100mg 「NIG」
PTP シート		
形状	円形の口腔内崩壊錠  	円形の口腔内崩壊錠  
直径	9.1mm	12.1mm
厚さ	4.7mm	5.4mm
重さ	305mg	610mg
色	白色～淡黄色	白色～淡黄色
識別コード	t F1	t F2

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アカルボース OD 錠 50mg 「NIG」	アカルボース OD 錠 100mg 「NIG」
有効成分	アカルボース	
添加剤	アスパルテーム (L-フェニルアラニン化合物)、エチルバニリン、クロスポビドン、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、トコフェロール、バニリン、D-マンニトール、 <i>l</i> -メントール、香料	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・アカルボース OD 錠「NIG」は、吸湿性が強いので、飲む直前に PTP シート（包装）から取り出してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発 売 元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL(フリーダイヤル)：(0120)039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）

製造販売元：日医工岐阜工場株式会社